プレゼン用

ア二ラジ

皆さん、おはようございます。今日、私はアニラジについてちょっと紹介したいことがありますので、是非お付き合いいただいたら嬉しいです。

まず、皆さんはこのタイトルを見て、「アニラジは何ですか」と思うですけれども、

アニラジというのは、アニメやゲームなどの関連情報をファンに伝えるためにされたラジオ番組で、アニメラジオ、略してアニラジと呼ばれています。

一般的に、アニラジには二つの種類があります。アニメなどに関する情報番組と声優やアニソン歌手の個人的な番組です。後者と比べてみると、前者のが非常に短くて、ほとんどの場合には、アニメが終わる時点で終わることが多い、つまりは三か月ぐらい。どちらも、声優がラジオのメインパーソナリティを務めています。声優さんはリスナーからのメールとお便りを読んだり、アニメなどに関する情報を紹介したりします。お便りで送れる内容はアニメを見た後の感想だけではなく、声優さんに聞きたい話や聞かせたいことなどを送ることができます。リスナーも色んな番組内に開設されたコーナーに投稿し、パーソナリティと共にラジオを盛り上げます。例えばこの佐倉としたい大西というアニラジのコーナーはこの感じでできています。どのコーナーもすごく面白くて、私は毎回楽しんでもらいっております。このようなとこができるというもアニラジの魅力であり、大人気の秘密かもしれない。

歴史を振り返ってみると、アニラジの始まりは第一回声優ブームの１９７０年代。当時の声優が海外の映画とアニメの吹き替えを主に活躍しています。アニラジが爆発的に増えたのは１９９０年代。がに減っているラジオ業界で、アニラジはアニメ好きな若者達をにして、多くの声優を起用し、人気をしました。代表的なのは、『エヴァンゲリオン(Eva Galion)』でレイを担当しためぐみさんのラジオ、「林原めぐみのTokyo Boogie Night」。１９９２年４月から、もう２５年以上続いていたというのような番組です。２０００年代から、パソコンとインターネットが一般化し始め、アニラジも、この時代の流れと共に、インターネット化するようになりました。~~２００３年の「文化放送 超！A&G+」がされたことをきっかけに、数々なアニラジのために開設されたアニラジ専用のインターネット放送局が多くなり、地上波ラジオからインターネットで配信されるようになった。２００８年から、「文化放送 超！A&G+」には、各番組の放送や収録中のスダジオの様子を見られる動画付きの配信が開始された。~~現在、「文化放送 超！A&G+」を始め、「音泉」と「HiBiKi Radio Station」が最も有名なアニラジ専用の放送局だと考えられています。

２０１５年、「文化放送 超！A&G+」や「音泉」、「HiBiKi Radio Station」などがアニラジアワードをし、アニラジを別にする「アニラジアワード」をしました。第一回には、「最優秀ラジオ大賞」や「大笑いラジオ賞」、「癒しラジオ賞」など全7賞があり、２０１４年に放送されたアニラジの中から、一般投票と実行委員会によって、最優秀なアニラジが選ばれました。第一回「最優秀ラジオ大賞」と「復活希望ラジオ賞」を獲得したのは『ノーラジオノーライフ、ゲーマー兄妹がラジオをするそうです』という番組です。今日はこれを皆さんに紹介したいと思っております。元々このラジオに関するアニメ『ノーゲームノーライフ』が終わったら、ラジオ自体もすぐ終わるはずですが、２０１４年７月８日（しちがつようか）の第１４(じゅうよん)回にて終了し、リスナーからのラジオ復活のお願いが多すぎるため、７月２０(はつか)日に秋葉原で行われた「MFJ、夏の学園祭2014」公開にて、隔週放送の形で復活することが発表された。復活放送は７月２９日から１２月３０日まで配信された。しかし、これで終わりというわけではない。第一回「最優秀ラジオ大賞」を受賞したことで、５月１２日に特別回が配信された。さらに、２０１６年７月１７日の「MF文庫J 夏の学園祭2016」にて、もう一回の公開録音が行われた。そして、今年の３月２６日の「Anime Japan 2017」にて、『ノーゲームノーライフ』の劇場版を紹介するため、もう一回の公開録音が行われた。これはまさに不死鳥のような復活し続いていたというわけだ。

ここ数年、アニラジ番組のイベントの開催が多くなった。イベントというのは、つまり公開録音のことだ。アニラジの放送は主にスダジオ内の収録ため、直接に交流する機会が少ない。しかし、公開録音なら、画面ではなく直接に目を見ることができるので、ファンの中に非常に人気がある。最近のイベントには参加応募抽選券が必要になった。それなりに人気があるというわけだ。だが、科学技術の進化と共に、アニラジが進化する可能性も十分ある。例えば、家から出なくでも参加できるイベントや、直接に会話ができるお便り、または動画と音声の代わりにVRで楽しめるラジオ。現在一般化し始めたARとVR技術がいずれアニラジに新たな変化を与えるだろう。アニラジがラジオという形から生れ変わる未来は目の前にあるかもしれない。(2196 words)